

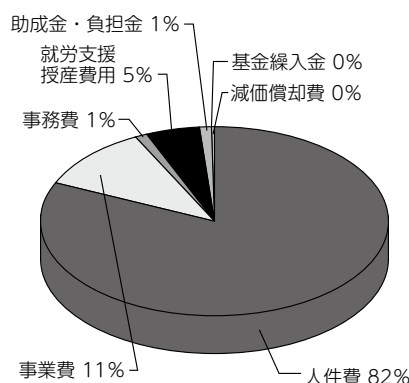
～理念～ 誰もが皆、自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します

やすらぎ園だより

No.219

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会／〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107代 FAX. 92-2457

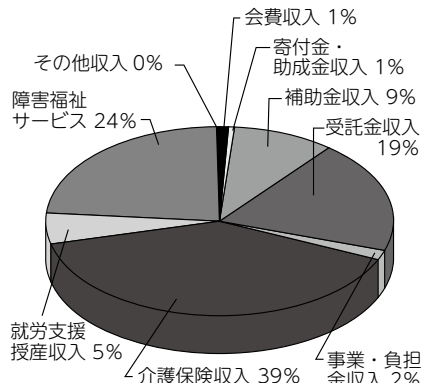
サービス事業活動支出



人件費	226,076,862
事業費	29,796,115
事務費	3,052,633
就労支援・授産費用	13,768,597
助成金・負担金	3,019,687
基金繰入金	0
減価償却費	215,329
合計	275,929,223

(円)

サービス事業活動収入



会費収入	2,391,000
寄付金・助成金収入	1,628,133
補助金収入	24,803,879
受託金収入	50,620,568
事業・負担金収入	4,623,444
介護保険収入	104,130,344
就労支援・授産収入	13,829,244
障害福祉サービス	61,989,631
その他収入	7,942
合計	264,024,185

(円)

令和六年度決算報告

小海町社会福祉協議会の理事会が五月二十八日、評議員会が六月二十五日に開催され、令和六年度一般会計・善意銀行特別会計の決算が承認されました。今年度、サービス事業活動における歳入は、障害福祉サービス事業収入の増加等により約九百万円の増収となりましたが、介護給付費収入の減収は前年度よりも更に増加し厳しい状況であります。

歳出では人件費の増加等により約一千五百万円の増となり、サービス事業活動では約一千九十万円のマイナス決算となりました。

引き続き、小海町で暮らし福祉サービスが必要とされている方々に対し、在宅福祉の推進や障がい者支援等寄り添い、社協の基本理念である、誰もが皆自分らしく生きるために支え合う地域づくりを目指し、職員一丸となって事業に取り組んで参ります。

日赤活動資金ご協力ありがとうございました。総額1,354,260円

皆様からの活動資金は、日本赤十字社長野県支部に送られ、災害救助活動、国際活動、救助法の講習会、地域での奉仕活動などに使われます。

令和7年度日赤活動資金集計表

地区分団名	件数	合計	地区分団名	件数	合計	地区分団名	件数	合計
本間下	87	87,000	八那池	76	74,700	卒道	17	17,000
本間上	58	59,000	松原	50	50,000	笠原	14	15,000
宮下	20	26,000	芦平	12	22,500	宿渡	20	20,000
本間川	31	43,000	稲子	56	56,000	土村南町	76	72,060
溝の原	18	20,000	二タ小池	36	36,000	土村旭町	40	40,000
五箇	6	6,000	箕輪	22	21,000	土村栄町	48	48,000
杉尾	15	15,000	芦谷	68	67,500	土村清水町	29	28,500
馬流元町	52	51,500	小海原	9	10,500	東馬流	81	84,500
馬流高根町	23	23,000	中村	18	18,000	大州	9	9,000
馬流本町	23	23,000	本村	63	65,000	大畑	66	70,000
馬流清水町	27	28,500	親沢	63	60,000			
鑑掛	55	55,000	川平	31	32,000	合計	1,319	1,354,260

新会長あいさつ

小海町社会福祉協議会会長 黒澤 弘



前会長の嶋田一正氏におかれましては、平成26年10月から10年9ヶ月の永きに渡り社会福祉協議会の発展のためにご尽力頂きました。この間には、障害福祉分野として、町から地域活動支援センターの事業継承や移動販売事業、シルバー人材センター小海支所の業務等々、町の福祉行政には必要不可欠で重要な事業を社会福祉協議会が担う事により、地域住民の多様なニーズに

応える組織としての社会福祉協議会を会長として組織をまとめ運営を軌道に乗せていただきました。改めて感謝を申し上げます。今後、益々地域での活躍にご期待いたします。

さて、小海町社会福祉協議会は、昭和49年9月に設立された公共性と公益性を有する民間非営利組織であり昨年50年の節目を迎え、設立当初から「行政の手が届きかねていた社会的弱者に寄り添い」福祉サービスを提供して参

りました。

町の福祉分野の事業実施にあたり、町と連携を密にし地域で暮らす全ての人々が、自分らしく安心して暮らす事ができる地域社会の実現に向け、介護保険事業や地域福祉事業、障がい者福祉事業等を含めサービスを必要としている方々に、町の福祉行政の実働部隊として、最前線でサービスを提供する組織であります。

社会福祉協議会の運営は、昨今の物価高騰等による経費の増加や介護保険事業における報酬改定の減額等により大変厳しい状況ではありますが、町としてもできる限りの支援により、現在の福祉サービスが維持継続できるようにしなければなりません。そして、職員一人一人が福祉の専門職としての知識と経験を基に、利用者の方々の状況を的確に捉え、自分らしく生き生きと地域で生活する為に、これからも日々職務に邁進して参ります。

町民の皆さまには、引き続きそれぞれの立場で社会福祉協議会の事業に対しご理解とご協力をお願いします。

退任のごあいさつ

前小海町社会福祉協議会会長 嶋田 一正

この度、小海町社会福祉協議会会長を6月25日付任期を持って、退任させていただきますことになりました。

平成26年10月に町社協会長に就任して10年余りの期間でありましたが、町当局との連携のもとに、町民の皆さま、ボランティア連絡協議会等各種団体及び医療福祉関係者等の皆さまのご支援を賜り、又理事、評議員、監査委員の皆さまのお力をお借りしながら社会福祉事業を進めることが出来ました。

ご支援、ご協力を頂きました全ての方々に心より感謝申し上げます。

この10年余の間、小海町社協の理念である「誰もが皆自分らしく生きる為に、支え合う地域づくりを目指します」をもとに、町民の皆さま、関係者の皆さまの温かいご支援に囲まれながら歩みを進め、昨年社協設立50周年、障がい者支援事業である「地域活動支援センターひまわり」開所30周年を迎えることができました。又、任期中は様々な、学びや経験がありました。特に思い出されるのは、新型コロナウイルス感染症拡大により、今まで経験したことのない非常事態宣言の中、感染防止を徹底しつつ、ご利用者の皆さま

を守るため、懸命に努力を続けた職員の方々と一緒に活動出来たことでもあります。

又、コロナ禍で地域のつながりが希薄となる中、これまで当たり前であった「つながり・助け合い」というものが如何に大切なものか、再認識することも出来ました。

現在、全ての世代の誰もが、いきいきと暮らし続けられる「地域共生社会」実現のため、世代を超えて「お互い様で支え合う地域づくり」を目指していることは心強い限りであります。

今後も、町社協には、設立時の精神を大切に、ご利用者の皆さまをはじめ地域に暮らす人々に寄り添い、地域の信頼と協力を得ながら複雑・多様化するニーズに応えつつ、地域社会の発展に一層貢献されますことを祈念しております。

町民の皆さまはじめ関係者の皆さまには、今後とも町社協に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任のご挨拶といたします。

第54回 小海町シニアクラブ大会開催

メインテーマ「創造と連帯の輪を広げてー『心豊かな21世紀を』」



第54回小海町シニアクラブ大会が、6月20日に小海町総合センターにおいて、6単位クラブ80余名の会員が参加し、盛大に開催されました。

まず、連合会副会長のシニアクラブ憲章の朗読から始まり、会長の挨拶では少子高齢化での集落維持について触れました。シニア世代が集落の人たちと協力して支え合い、集落の事業等大切な役割を担っていく必要があります、その為にも会員数の増加と休会中のクラブの復活が近々の課題となるとし、会員の皆様や関係各位の皆様への協力がありました。

続いて連合会及び各クラブの活動において多大な貢献をして頂いた方への表彰があり、東馬流長寿会の岩下正光様、親川老盛会の井上茂元様がそれぞれ表彰されました。

記念講演では『佐久病院80年、そしてこれから～地域と住民のゆたかな未来への貢献をめざす～』と題し、佐久総合病院小海分院院長の由井和也氏にご講演頂きました。佐久総合病院や小海分院の歴史や医療について等、大変興味深いお話を頂きました。

続いて、小海町交番の上原隆弘氏より、特殊詐欺や交通安全について注意喚起のお話を頂きました。



午後は、会員の方々による演芸会が行われました。幻灯機の上映から始まり、楽器演奏、マジックショー、日本舞踊、各クラブによる歌や踊り、ハーモニカ演奏と、とても賑やかで素晴らしい演芸会となりました。最後に会場全体で県歌「信濃の国」を斉唱し、万歳三唱が行われ閉会となりました。

小海町シニアクラブ連合会では
休会クラブの復活、新規クラブの加入をお待ちしております。

夏休み子どもキャンプ参加者募集！

8月9日(土)に、防災を学ぶ子どもキャンプを開催します。

午前中は、日本赤十字社の講師を招き、家庭の危険箇所を学び、防災について考えるきっかけ作りに。
午後は、バーベキューと魚つかみで夏の醍醐味を味わおう！

新しい発見と楽しい体験を通して、忘れられない夏の思い出を作りませんか？

- ◆対象：小学生
- ◆参加費：500円（昼食、保険代込み）
- ◆定員：20名程度

詳細・お申し込みは、小海町社協（92-4107）まで。



この夏、一番輝くのは君だ！



シルバー会員の募集

小海町シルバー人材センターでは、地域の活性化と高齢者の生きがいづくりにご協力いただける会員を募集しています。特に夏本番を迎え、草刈り作業の人手が不足しております。豊富な経験と知識を地域のために役立てませんか？

「ちょっとした時間に働きたい」「社会とのつながりを持ちたい」など、働き方は様々です。詳しくはお気軽に92-4900までお問い合わせください。



令和7年度小海町ボランティア連絡協議会 登録団体紹介

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	グループ名	代表者	会員数			活動内容
			男性	女性	合計	
1	ボランティア根っ子の会	小山栄利子	0	12	12	社協への協力（二輪草誕生日プレゼント作成、二輪草文化祭展示作品のお手伝い）特養こうみの里にて洋服の縫い、ベット欄のカバー作り等、シニアクラブ大会の手伝い
2	小海町更生保護女性会	井出みつ江	0	30	30	小海駅周辺、宮下待避所の清掃、南佐久地区防犯女性部交流、3地区合同清掃活動、防犯及び各研修会に参加、「母の鈴」中学3年生に贈呈、健康福祉まつりへの協力、子ども食堂への協力、更生施設への研修
3	花を愛する会	井出 雄二	2	7	9	社協への協力（花壇造り（ロードフラワー）・草取・芋植え・菊植え・配布活動）あゆみ園との芋掘り、視察研修
4	やすらぎ園ボランティア		0	4	4	デイサービス利用者への話し相手・お茶出し等
5	小海そば打ちクラブハッ手峯会	新井 松夫	7	7	14	社協行事への参加、そば打ち教室の開催・指導、各イベント・敬老会でのそばの振舞
6	傾聴ボランティア	小池 郁子	2	6	8	施設個人傾聴、在宅傾聴、定例会、県傾聴ボランティア連絡協議会総会、講演会への参加
7	つながり隊	篠原 正一	13	8	21	住民参加型の在宅福祉サービス（除雪、除草、室内片付け、整理他）ボラ連活動への参加
8	更紗どう暖の会	小山 茂	5	2	7	花を愛する会（花壇の草取、芋作り、菊作り）、子育てサポート等の手伝い、やすらぎ園デイサービスのお手伝い、ボランティア講座の受講、健康福祉まつりへの参加
9	子育てサポートこうみ	山下 良一	11	3	14	小中学生の通学時の見守り、小学生の学習支援、児童館活動の補助・畑づくり
10	小海おはなし本舗	菊原 修一	5	11	16	定例会、やすらぎ園デイサービス、なごみ、二輪草の会、大畑おたのしみ会、笠原サロン他施設での紙芝居出演他 重忠まつり、3つの会のおはなし会への参加
11	八峰村	松下 次子	1	9	10	畑の整理、オーナー交流会、大豆・じゃがいも作り、年度総会他
12	朝霧会	井出 広美	1	13	14	人形劇練習・上演（二輪草の会等）、同窓会総会、同窓会他支部・班活動への参加、定例会、学習会、研修会、ボラ連活動（健康福祉まつり等）への参加
13	習知会	成澤 良夫	5	0	5	やすらぎ園二輪草の会の講話、地域の歴史講座への参加、楽習館郷土資料室の説明、秩父事件関係の歴史ガイド
14	明るく元気にしたい会	油井 正仁	8	2	10	保育園と児童館の食育、道路沿いの花植え、ハロウィンかぼちゃの配布他

各団体では、随時ボランティアを募集しています。ボランティア活動に興味のある方、一緒に活動してみたいという方は社会福祉協議会（92-4107）までご連絡ください。